



こんにちは!

のうか

農花

アグリヴェイリー

です!!



花巻農業女子プロジェクト

私たちの活動を紹介します!!

1

花巻市内外のマルシェなどで、
私たちが作った農産物を販売しています!



5月と10月【土澤アートクラフトフェア】
(岩手県花巻市東和地域)



5月【日本ワインフェスティバル】
(岩手県花巻市大迫地域)



6月と9月【盛岡 菜園・de・マルシェ】
(岩手県盛岡市川徳デパート)



野菜、果物、ジュース、加工品等…色とりどりの様々な商品が並びます♪

3

私たちが講師となり、ご飯や野菜をおいしく楽しく
食べられる工夫を消費者の皆様にご伝えています!



12月【新米deおにぎり講習会】



おにぎり・おにぎらず・まき寿司を
楽しく作って味わいました♪

2

花巻市内の飲食店オーナーシェフの皆様にご協力いただき、
私たちの作った農産物を使ったオリジナルメニューを
開発していただきました！

イル・フォーレ様

花巻市松園町1-4-1 TEL 0198-24-9957

【一例】 パスタ：花巻農業女子の野菜たっぷりジェノベーゼソース

◆提供食材：バジル、アスパラ、オクラ、ぶちぶよ、枝豆

ドルチェ：白桃のコンポートと岩泉ヨーグルトのパナコッタ

◆提供食材：白桃



バダローネ様

花巻市大通り1-5-12 TEL 0198-29-5335

【一例】 かぼちゃ5種食べ比べ「色んなかぼちゃタワー」

◆提供食材：かぼちゃ（坊ちゃん、プッチーニ、ながちゃん、夢味）

ホロホロ鳥ムネ肉と野菜のサラダ

◆提供食材：ぶちぶよ、赤玉ねぎ、じゃがいも、ピーマン、紫水菜、アスパラ

レガメ・ダ・オルト様

花巻市吹張町12-5 TEL 0198-29-4569

【一例】 前菜：さつま芋のサフラン煮と
南瓜と自家製リコッタチーズのセルクル仕立て
赤玉ねぎのドレッシング

◆提供食材：紫水菜、赤大根、赤玉ねぎ、サツマイモ、ぶちぶよ、かぼちゃ

スープ：りんごのスープ

◆提供食材：りんご（さんたろう）



4

消費者の皆様や時代のニーズに対応できるよう、
様々な方々を講師に迎え、研修会を開催しています！



7月【手描きPOP講習会】



11月【視察研修】



農業から繋がる、広がる活動

～代表メンバーと、岩手県担当職員、花巻市担当課長との語り～

「^{のうか}農花アグリヴィリーノ」は2016年に結成した、花巻市内で農業に携わる女性の集まりです。活動当初は学習会や視察研修をしながら、仲間づくりと自分たちのスキルアップを図るとともに、生業である農業の収入アップと活動PRのため、各地で開催される催事にマルシェを出店してきました。2018年には、地元の皆さまに自分達が育てたおいしいお米や野菜を食べてもらいたいとの思いから、花巻市内飲食店のシェフとコラボし、スペシャルランチフェアを開催しました。また、メンバーが講師となりおいしく楽しくご飯を食べて欲しいとの思いから「おにぎり講習会」を開催するなど、活動の幅を広げています。活動を通して感じたことや、今まで面と向かって話したことがなかった「農業」への思いなどを、4人のメンバーが代表して本音で語り合いました。

人生のターニングポイント

藤原 本日はご多用のところお集まりいただきありがとうございます。農業女子の活動についてはこれからじっくり伺いますが、はじめに、それぞれが「農業をしよう!」と、思ったきっかけを教えてください。

小原 父が亡くなり、母一人では農業は難しいと思ったことと、二男の卒業後の進路を考えなければいけないタイミングとが重なり、20年ほど勤めた金融機関を退職し、2015年に母と二人で六次化で起業しました。

川村 盛岡市で農家の長女として生まれ、跡を継ぐつもりで農業関係の大学に進学しました。そこで夫と出会いました。卒業後、就職はしましたが、結局、農家の長男である夫の元へ嫁ぎました。夫への愛が強かったんです。(笑)

藤根 もともと農業をする気はなかったんですが、関西で調理師の仕事をしていたとき、「農作物を作る人がいないと成り立たない職業だなあ」って、ずっと考えていて。調理師は誰かがやればいいけど、一次産業の人口が減れば農作物も減り、どんどん衰退してしまうなあ。おもむろに地元へ帰ろうと思ったときに、父がブルーベリー栽培を始めていて、とりあえず一緒にブルーベリーと祖父のりんごをやってみようという、軽い気持ちで、早8年。今は、一応後継ぎとして頑張るつもりです。

藤原 食べ物を作る立場にいたから、原料への関心があったのかな？

藤根 関心、ありましたね。いつも送られてきたお米やりんごも「あたりまえ」ではないと感じていて。親がどうにかなくなってしまえば無くなるんだなと。農業人口を減らしたくないという思いが大きかった…って言えばかっこいいんですけどね(笑)一人でも二人でも微々たる力でも、減らないうに越したことはない。少しでも貢献できればと思っています。

小松 大学に行くため実家を離れたとき、初めて食べ物の味が全然違うことを実感しました。いままで新鮮でお

いしい野菜やお米しか食べていなかったんだなあ。結局、体調を崩して実家へ戻りました。農業は、今はまだ、お手伝い程度です。

藤原 確かに!自分も学生時代実家を離れていて、若いときは量さえあればいいと思ってたけど、味わって食べると「ちよつとなあ〜」って。

川村 農家育ちの子は、生まれた時から自分の家のお米や野菜を食べているから、おいしさが体に染みついているんだよね。体が覚えている。

魅力? それは「うまいもの」!!

藤原 農家は食に対してこだわりを持っていますよね。そういうこだわりを持った農家が集まれば何かできる。「思い」と「良質な作物」そして「作り手」は花巻にはある。これをうまく組み合わせれば、1+1=2ではなく、3にも4にもなる。このグループもそうだと思うんだけど、改めてこの会の魅力はどんなところだろう?

小原 米、野菜、果樹、花など、いろんなジャンルの農家が集まっていることと、やる気や思いがある人が多くって刺激になる!その思いが今、少しずつ形になってきました。集まったからこそできた成果だと思っています。

藤原 一人では力が出し切れなかったことが、人が集まることによって相乗効果になったね。単なる足し算ではなく掛け算になった感じかな。

川村 情報交換の場にもなる。地域や条件の違う土地での作付でいろんな情報が入ってきて刺激になるし、個々の悩みも聞いてお互い緩和されてストレス解消!!元気になるって帰れます。※作付:農作物を植えて育てること

澁谷 年代を気にせず、皆さんお話をされていますよね。すごくいい。組織だと上下関係があるけど、フラットだね。

小原 女性は肩書を気にしないし、20代のメンバーが来ても居心地が悪くないと思っている。って…えっ?そう思っているの私だけ???







小原 喜代美
花巻農業女子プロジェクト代表
水稲(3ha)・原木しいたけ、野菜多品種を栽培

母親と二人で惣菜などを手掛ける工房を運営しながら、持ち前のリーダーシップを会を引っ張る元気印母ちゃん



川村 姫子
水稲(8ha)アスパラガス(1.5ha)カラフル野菜など多品種を栽培

名前のようにおっとりしながら人の心に印象を残す名人。チャレンジ精神旺盛で、バリバリと何でもこなす実力派



藤根 果奈子
ブルーベリー(1ha)りんご(70a)、和なし、桃を栽培

父親と二人で高祖父のリング園を継承しながら、調理師免許を活かした加工品も手掛ける。子育て、真最中

小松 おいしいものにつられて、いつの間にか…(笑)

藤根 おいしいものは大事だね!メンバーそれぞれがおいしいものを作って、持ち寄るからね!

ばあちゃんにもパワーを!

藤原 花巻市内はもちろん、県内のイベントに出店して野菜等を販売する活動が増えてきたけど、消費者の皆さんに直接売るということは、どういう経験になっている?

藤根 私は、この農業女子の活動のほかにも個人で産直に出したりしていて、産直だと消費者の声を直接聞く機会がありませんので、声が聞けるのはやっぱりいい。価格面で色々言われるけど(笑)

あと、ウチは果樹メインなので、品種の説明ができるのは大きい!消費者の皆さんも説明してもらいたい人が多い気がする。栽培方法とか、うまく育たないとかお悩み相談をすうーっとしていた時もあった(笑)

川村 お客様と話をしていて、勉強になる。「消費者の方はこういうことが知りたいんだ!!」という、新たな発見の場。今後のヒントになる。

あとは、昔からばあちゃんがカラフル野菜を作っていたけど、売れないからやめていた。それが今になってちよつとすつ芽が出てきた。農業女子に入って飲食店のシェフとのお付き合いが増えて、需要があることが分かって。私が活動して情報を仕入れてきて、家に帰ってフィードバックすると、ばあちゃんも元気になって、また野菜作りをしてくれる。ばあちゃん世代の農家の女性はどこにも出かけないで毎日家でコツコツだったと思うけど、今は自分が外に出ていくことによって、いい循環になっている。

「売る力」がつく?!

小松 私は、やっぱり話すのがちよつと苦手です…

藤原 そこは経験値だからね～

私も昔は無口で…(一同大爆笑)

小原 20代で、こんなに幅広い年代や職業の違う人とか不特定多数の人と話すということは、なかなか無いと思うし刺激になると思う。お父さんやお母さんの農業する姿がベースだとは思うけど、この活動で「こんな考えもあ

るんだ!」という発見は、これから自分が農業をやる!っていう時に、プラスになると思うよ。

小松 はい。

藤根 産直で全然売れなくても、そこで落ち込まずに「じゃ、自分で売ろう!」って思える。農業女子をやっていると、「売る力」がつく!

一同 やっぱり、それは経験値だよな～

川村 いろんな発見ができるようになる。農業女子に若い時に出会えなかったなあ～

農業は、女性の支えがあればこそ?!

小原 農業女子がスタートしはじめた頃、農水省の方が「農業に従事している7割は女性なんですよ。」という言葉が忘れられない。表に立つのは男性なんですけど、見えないところで女性がこんなに貢献しているんだなあ。だったら自信をもっていんだ!って。

藤原 園芸作物でよく言われるけど、女性は細かな作業も黙々と延々にしてくれる。男性は飽きっぽいからね。

小松さんのような若い世代の方も参加して、様々な情報交換や経験ができることは、これから何十年か後に活かされると思う。また、いろんな年代の方がいることが、この会の強みだね。

川村 今のSNS時代、若手がいるから教えてもらえてすこくいい!!

澁谷 それぞれ得意なことが違うから、フォローしあっていい関係ができています。

小原 土づくりに詳しい人、セールストークが得意な人、販路を広げるのが得意な人など、いろいろな人がいる。個人の繋がりから農業女子として販路拡大になったことも。一人では接点がないところへ繋がっている。

川村 この会のいいところの一つとして、自分だけで独り占めしない。みんなに提案や紹介をしてくれる。

藤根 独りでめたくても、何でもかんでもできるわけじゃない。お客様のことを考えると、色んなものがあつたほうがいい。そうするとメンバー皆で協力し合うことがメリットとなる。

小原 独りで悩んで解決しないことも、この会があるおかげで、県からも情報が入っている方向に繋がる。







小松 まゆ子
水稲(32a)なす(10a)野菜
多品種を栽培

メンバー最年少であるがゆえに、みんなから期待をされている、次代を担うホープ。祖父、父母兄妹と大家族で暮らす。



澁谷 まどか
岩手県中央農業改良普及
センター地域普及とグルー
プ上席農業普及員

花巻市の農業女子を技術や知識面から支えてくれる、頼れる存在



藤原 康司
花巻市農林部農政課長

在職期間の半数は農業関係に携わり、花巻市の農政をけん引。また、農家でもあり、農作業のノウハウもある。

藤根 情報収集のためだけでも、試しに農業女子に入るのは価値があるね!

澁谷 個人にこういった情報を流す手段がないのが現状。市のバックアップがあり組織になっているから、最新情報や助成の話も入手しやすくなる。

川村 個人で相談や申請等をする「迷惑な人」扱われる場合も。でも組織だと受け入れてもらいやすいね。

家庭で、アンチファンをつくらない!

藤原 消費者の皆さんからの情報収集、仲間同士での情報交換や勉強会を通して、この会の役割がわかったところで、この会をこれからどうするのかは、皆さんにかかっていると思いますが、夢や希望、抱負があれば教えてください。

小原 「大変だ、忙しい、疲れた」という姿を家庭で見せていることは、子供たちをアンチファンに育てていること。だから、極力、楽しんでいきいきしている姿を見せて「農業は捨てたもんじゃない。楽しいものなんだ。」と感じてもらいたいな。職業として選んでくれなくても、親の仕事、農業は誇らしいと思ってくれさえすれば、小さな芽でもいつかは出てきてくれるはず。

藤原 親の姿は無意識に見ているね。私も農家の長男だから、農家ってのは腰が曲がっても、年をとっても一生やらなきゃならないもんだと思っていた。けど、祖父母がいきいきとやっていたら?面白く思えたはず。職業としてもいいんじゃないかって思ってもらえるはず。

川村 農業は、生きていくうえで一番大事な「食べる」ことに携わることだよな。

藤原 先日市場に行ったとき、農業は「生命維持産業」と言われて、改めて言われると、そうだなって。

藤根 農業者は供給者。あと、定年がないことは魅力!

小原 自然相手です予想どおりにいかないことが多いけれど、時間配分を自分でやりくりできれば、自分のペースで仕事ができる。定年はないけど、休日もないね(笑)。でも、やる気さえあればずっと働ける!

藤根 「年金出るまでどうしよう」って心配はないね。

川村 ウチは5世代が暮らしていて、97歳になるばあちゃん、ボケもしないで現役!家族で農業しているからいざごきもあるけど、それが逆にいい!

藤根 なんてって「手」を動かしているからね~

川村 そうそう!そして「口」も!!(笑)

小原 健康でさえいれば、どんどん道が拓けてくるって、すごい魅力!!

藤根 肉体労働が平気になった!(笑)

メンバー同士で、辛口批評?!

藤根 メンバー同士で売り手になったり買い手になったりもする。作っているものが違うから。

小原 自分にはないものだから、魅力を感じるよね。

川村 私は別の仲間と六次化しているけど、新商品を作った時に、口が肥えている農業女子のメンバーに試食してもらって、意見をもらっています。いいも悪いもはっきり言ってくれるから。いいことを言う人はいくらでもいるけど、農業女子は改善点を言ってくれるからとても貴重!

藤根 みんな、結構言うからね~(笑)

藤原 ステップアップには大切だね。

小原 売り方についても相談しあえる。マルシェでは見栄えも大事だから。

澁谷 産直も組織はあるけれど、アドバイスまではね。だから皆さんのこの間柄は、貴重ですよな。

藤原 腹を割って、話しができるっていうのは、いいですね~

川村 お酒がなくても!(一同爆笑)

澁谷 仕事から様々な会合へ参加しますが、男性陣は思っても発言しない。会が終わった後に「実はこう思っていたけど…」と、言う人が多い。

川村 女性は、初めから直球で言うもんね。

小原 限られた時間だからね。絶対に長時間、会議しない。

澁谷 皆さん、必要な情報ももらって満足して帰っていく。農業のことだけではなく、地域のことや、新しいお店ができるよとか、色んな情報が飛び交っている。こういった組織はなかなかないですよ。女性ならではの?!

藤原 女性の観点は大切。男性にはないきめ細やかさや、人との接し方を活かしながら、商品開発に繋がったり、物を生産したり、こだわりを持って活動を続ければ成果は必ず出るし、継続していくはず。





戻れる場所が、ある強み!

辻谷 この会は「種まき」の場だと思う。

一同 そうですね!

辻谷 種をまくことは意外と大変。実るまで時間もかかるし。

藤原 それが実になるかどうか!?

辻谷 今、このメンバーがあつてこそ、次の世代の種まきもしていけば、育つと思う。でも、種まきをしていかないと、次の実の出ない。

だから、皆さんがまいた種が次の世代や、若しくは先輩へも繋がっていくかもしれない。

小原 先輩たちの意欲は本当にすごい!研修会に来て質問するし、とても貪欲。自分がその世代になったとき、同じような意欲でいられるようにしたい。定年がないということは、いつまでも現役で頑張ることだと思う。

辻谷 学びの場はありますよね。指導会や研修会が。でも、この会のような売り方や経営を学ぶ場は、あまりない。ましてや今の時代、情報がとても大事。インターネットと言っても逆に情報がありすぎる場合も。

藤原 それは、市がフォローして情報提供していきます。皆さんが集めてきた情報とリンクさせてもらえれば、次の展開に繋がっていくはず。

小原 花巻市のバックアップがあればこそです。

辻谷 組織を維持することって難しい。特に女性家事や育児もあつて忙しい。ここを考慮してバックアップしないと組織は続いていかないと思う。

藤原 そうですね。立ち上げるだけなら簡単。それを維持するほうが難しい。

小原 今、子育てしているからイベントや会議に出られないメンバーも実際にいますが、SNS等で繋がっています。自分の生活サイクルが変化しても、戻れるところがあるっていうのは、強み?安心感??

辻谷 家事や子育てという同じ経験をしているからこそ、お互いサポートができるし、戻つても来られる。「今、ちょっと忙しいから抜けるね」って言える。

藤原 なんていうのかなあ〜、無理せずさ。

小原 そう、やんべに。※やんべに:程よくの意

川村 「やんべに」って、花巻弁で、本当にいい言葉

小松 それができるからこそ、女性は繋がっていくのかなあ〜

藤原 つま先立ちしても、仕方ないよね。

農家って、やっぱりいい!!

小松 初めは、農業女子って言うくらいだから、「ちゃんと就農して!」とか言われるかなと思ってたんですけど、活動してみたら「自分なりでいいんだあ〜」と、思えてきました。地元の友達なんかは「農業を継ぐのはイヤだけど、家になきゃいけないし…」って、悩んだり、迷ったりしている人がたくさんいて、いろんな葛藤を抱えています。そういう人たちを…

川村 連れてくればいい!!

小原 居娘って、色々考えるよね。

※居娘:実家を継ぐ女性

辻谷 最初から「農業、やらない」って言う人もいるなか、貴重。やっぱりちょっと考える人のほうが多いのかな。

小松 色んなジャンルの人が、もっとメンバーになってくれば、もっと広がると思う。一人でも小規模でも続けていくのかなって。

川村 農家に生まれて、元からあるものって、飽きるじゃないけど「はあ〜重たい」ってなる。でも、一度家を出てみると貴重だなんて思える。私は家を出て別の農家に嫁いだからかな「やっぱり、いい!」って思えた。

小松 家を離れ、今、また実家において感じているのは、農家って、一番新鮮で一番おいしい瞬間の野菜を味わうことができる。食べることに興味がある私にとっては、とても幸せ。いいところも分かったけど、重たいところもまだ。日々、葛藤です。

小原 年は離れてるけど、仲間がいるから安心して!!

まずは楽しみながら、息抜きしながら無理をせず「やんべに」やりましょう!!(笑)



現状をよしとせず、常によりよいものを見据えている農業女子たち。それは、自らが手掛ける農作物や加工品をつくる姿勢と一緒に感じました。農業をする人は、農作物を育む時間を楽しみ、待てる人。そんな優しさや穏やかさ、そして強さとしなやかさは、農業を取り巻く厳しい環境のなかにあつても、頼りになる貴重な存在です。

おいしくて安心・安全な農作物を消費者の皆さんへ提供し、喜んでいただけることが、活動の原動力です。これからも応援をよろしく願います。



起業しています～メンバーの生業を紹介します!!～

小原 喜代美 (つくし工房)

住所：岩手県花巻市東和町百ノ沢 2 区 107

TEL & FAX：0198-42-3465

携帯：090-8782-4192



川村 姫子 (いわて花巻発うめえぐ加工しちやい隊)

住所：岩手県花巻市二枚橋 3-13

携帯：090-5596-0653

販売商品：乾燥味噌汁セット、乾燥野菜入りこんにやくポン煎
野菜のピクルス&粕漬け (近日販売予定)



齊藤 靖子

住所：岩手県花巻市成田 24-168-5

携帯：090-3129-6013



藤根 果奈子 (はなまきブルーベリーファーム)

住所：岩手県花巻市石鳥谷町関口 16-4

携帯：090-2062-5640

販売商品：りんごジュース、ジャム (りんご、ブルーベリー)
ドライイチジク、大豆



岡田 知穂

住所：岩手県花巻市石鳥谷町新堀 64-168-4

TEL & FAX：0198-45-2887

携帯：090-1499-9452



小松 悦子

住所：岩手県花巻市大迫町内川目 14-94

TEL & FAX：0198-48-5033

携帯：080-1859-7095

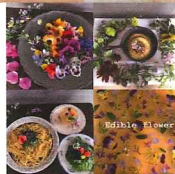


岡居 亜優美

メールアドレス：ayumi.okai@gmail.com

facebook：www.facebook.com/ayumi.okai.1

Instagram：@les_racines



発行・問合せ：岩手県花巻市役所農林部農政課

住所：岩手県花巻市野田335-2 電話：0198-23-1400

花巻市ホームページでも活動を紹介中！メンバーも随時募集中!!

<http://www.city.hanamaki.iwate.jp>